

和歌山県

- ① 展示ケースの木質化
- ② 木製ベンチの設置
- ③ 施設内の木質化
- ④ 木製掲示板の設置
- ⑤ 受付カウンターの木質化

【概要・アピールポイント】

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー木材を用いて、県立スポーツ施設の「紀三井寺陸上競技場」及び「秋葉山公園県民水泳場」において、木質化や木製品の設置を行い木材利用に向けた普及啓発を実施。



■資材提供のきっかけ

選手村ビレッジプラザへの木材提供は、世界中から日本に集う選手や大会関係者などに、県産材である紀州材を広くPRできる好機と捉えたことから、本プロジェクトに参画するものとした。

■完成まで・完成後のエピソード

施設利用者からは、再利用後に、次のような声が寄せられている。

- ・「ヒノキの良い香りがする。」
- ・「これまで無機質だった空間が、暖かみを感じる空間になった。」
- ・「紀州材がオリンピックの関連施設に使用されたことに驚いた。」

■提供した木材の概要

紀州材（スギ・ヒノキ）約23m³

■完成/使用開始時期

2022年7月1日

■製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

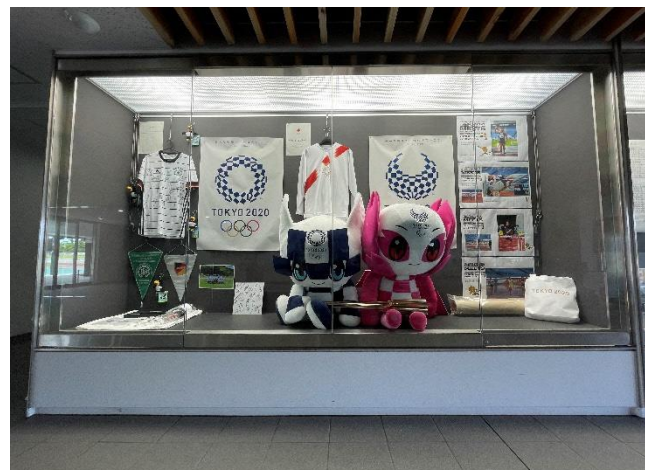
- ①② : 紀三井寺陸上競技場
- ③④⑤ : 秋葉山公園県民水泳場

■用途

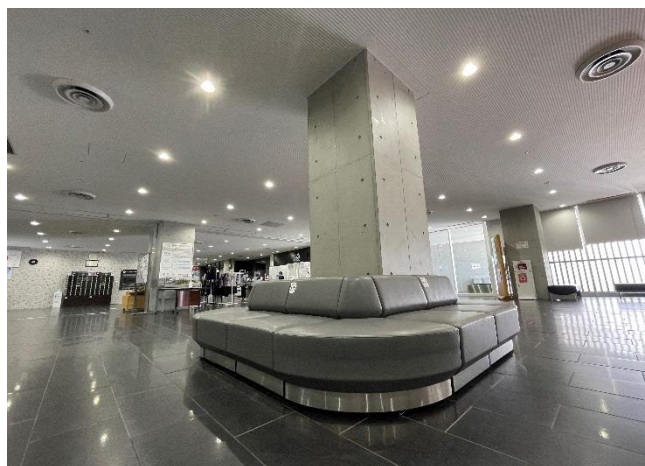
- ① 展示ケースの木質化 (2基)
- ② 木製ベンチの設置 (10基)
- ③ 施設内の木質化 (一式)
- ④ 木製掲示板の設置 (1基)
- ⑤ 受付カウンターの木質化 (一式)

■用途決定までのプロセス

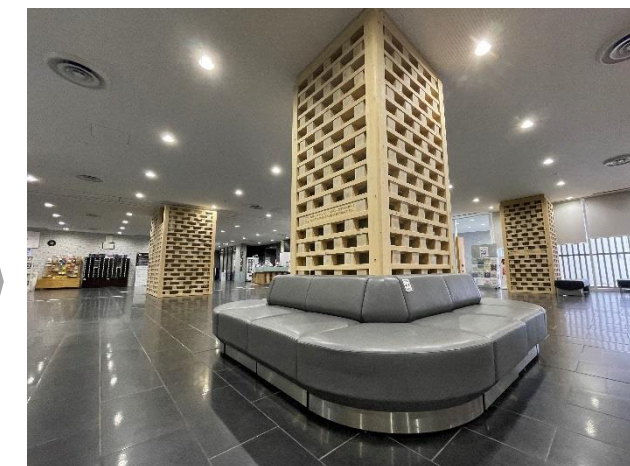
今回の再利用は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー木材であることや、県民の方々へのPR効果を考慮し、県立スポーツ施設での再利用とした。



● 紀三井寺公園陸上競技場 展示ケースの木質化



● 秋葉山公園県民水泳場 エントランスホールの木質化



問合せ先

和歌山県 農林水産部 森林・林業局 林業振興課 (木材産業班)
電話: 073-441-2964